

※注: 当日発表するスライドからの抜粋です。

令和3年度 第9回アーバンデザインセミナー

11/March/2022

## 世界の伝統的集落から都市と住まいの知恵をくみ取る



立命館大学理工学部/UDCBK 及川清昭

## ■ 及川略歴

1953年 岩手県生まれ。1976年 東京大学工学部建築学科卒業後、建築設計事務所勤務を経て、東京大学大学院修了。東京大学生産技術研究所助手・特別研究員、東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授を経て、2003年 立命館大学理工学部教授。2012年から立命館キャンパス計画室室長。2016年のUDCBK設立時より同センター長。2019年より立命館大学理工学部特命教授。専門分野は建築・都市計画。工学博士。

## ■ 研究活動：建築・都市空間の調査・解析・計画

## 【1】 世界の伝統的住居・集落・都市の調査研究

住居配列の形態的特性、素材と風土の関連性、空間の意味構造、民族や場所に固有な空間形成手法など、いわゆる“居住文化の特性”についての実証的な研究

## 【2】 建築・都市空間の解析

空間特性を記述する数理的指標や、幾何学的・形態学的な解析手法・ツールの開発

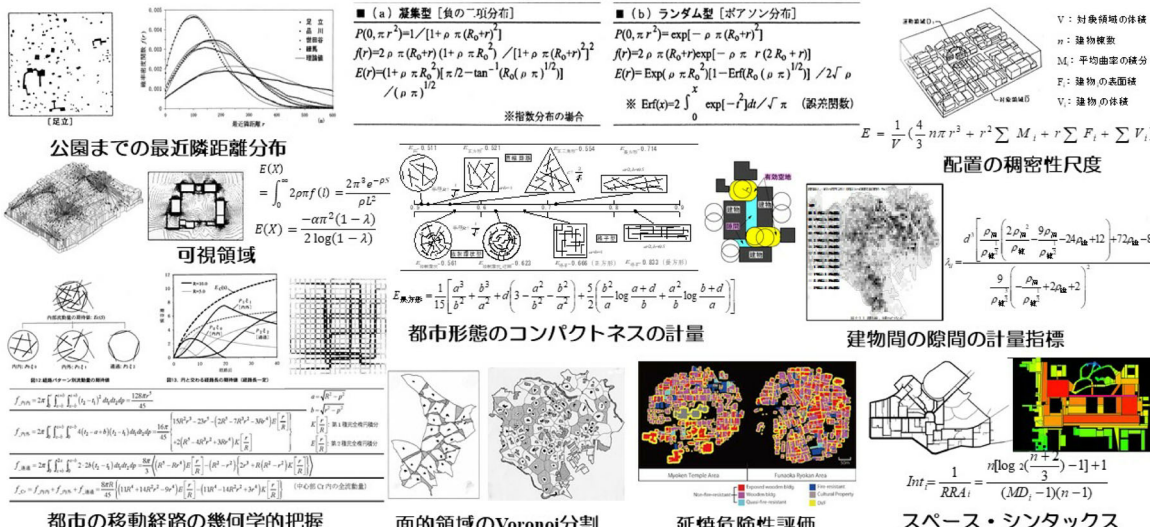
## 【3】 建築・都市空間計画の実践

建築設計、都市・地域計画・まちづくり、大学のキャンパス計画



## 【2】 建築・都市空間の数理的解析

空間特性を記述する数理的指標の開発、都市景観の定量的把握、移動経路と流動量の幾何学モデル、スペース・シNTAX理論、空間情報処理手法など。「都市解析」という研究分野。





## 【3】 建築・都市空間計画の実践

建築設計、都市・地域計画・まちづくり、大学のキャンパス計画(2012~)。建築都市関連委員会活動(滋賀県内は60弱)



## 【1】 世界の伝統的住居・集落・都市の調査研究

## 1. 日本の伝統的まち並みの調査 &lt;1980・1981・1982; 全国150箇所&gt;

1980年頃は、日本各地に残る伝統的まち並みの現地調査(約150箇所)を行い、建築形態の背後にある意味や構造を解読する。



※赤丸の街並みを及川が調査(調査全体は東京大学・門内麟行氏(当時)による。全107箇所)



家の周囲に黒松の木を植える



柔らかい土地を安定させると同時に、強い季節風を防ぐ。

出雲平野の築地松集落

及川清昭, 居住文化論32-出雲平野の住居 住宅誌第1980年8月号

## 2. 海外の伝統的住居・集落・都市の調査研究(約330箇所)

1990年から2009年まで、インドネシア・パプアニューギニア・中国・中南米・アフリカ・中東・ベトナム・ラオスなどの地域を対象として、住居・集落・都市の現地調査を継続的に行ってきた(約330箇所)。実測した集落配置図や住居平面図をもとに、自然・社会環境条件と空間構成の対応関係を相互に比較し、住居配列の形態的特性、素材と風土の関連性、空間の意味構造、近代化に伴う住居形態の変容、**民族や場所に固有な空間形成法**など、**<居住文化の特性>**について実証的な研究を行った。

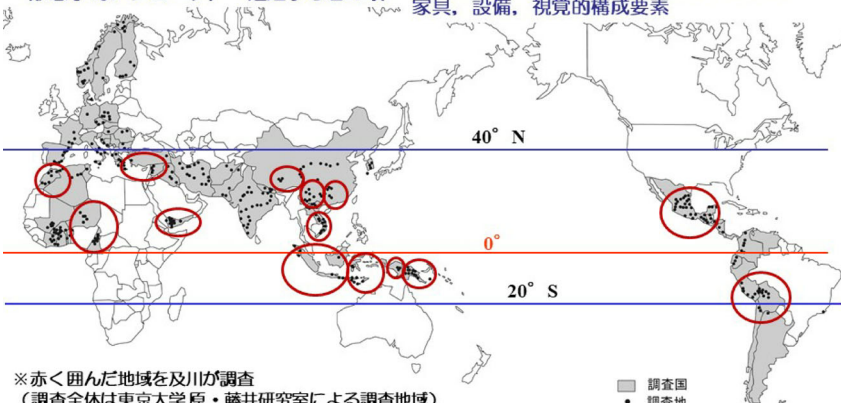
## ■調査方法論

形態学的アプローチ, “通過する者の眼”

## ■調査内容

集落配置図, 住居平面図・立面図・断面図

家具, 設備, 視覚的構成要素



※赤く囲んだ地域を及川が調査(調査全体は東京大学・藤井研究室による調査地域)

調査国  
調査地

## ■調査リスト(東京大学生産技術研究所・藤井研究室)

- 1972-博多(中東)地域: フランス, ベン, モロッコ, アルジェリア, チュニジア, イタリヤ, シリア, トルコ
- 1974-中南米地域: メキシコ, グアテマラ, ホンジュラス, ニカラガ, コスタリカ, パナマ, コロンビア, ベルギー, エアデル
- 1975-東欧・中東地域: ドイツ, ポーランド, チェコスロバキア, ガリ, ルーマニア, ユーゴスラビア, アルバニア, トルコ, イラン
- 1977-南アジア地域: インド, インドネシア, パキスタン, アフガニスタン, シリア, キリシヤ
- 1978-西アフリカ地域: アルジェリア, ニジェール, ガーナ, オーストラリア, コートジボワール
- 1989-中国: 黄土高原, 羊子ベット高原, 四川盆地, 雲南高原, 貴州高原
- 1989-ベネズエラ: オリノコ河流域, ウララ地方
- 1990-インドネシア: ニアス島, スマトラ島, バリ島, ロンボク島, サラウェヒ島, フロレス島
- 1991-パプアニューギニア: セビック河流域, ハイランド地方, トブリアン島
- 1992-メキシコ: 太平洋沿岸地域, 中央高原, チャパスコタン半島
- 1993-インドネシア: マドゥラ島, イリアンジャヤ, セラレング, ロキ島, フロレス島, 手モル島, カリマンタラ島, サラウェヒ島
- 1994-南米アンデス高地: ボリビア, パルーチ, アルゼンチン
- 1994-中国: 雲南省, 湖南省
- 1995-北欧: フィンランド, スウェーデン, フィンランド
- 1995-北西アフリカ地域: モロッコ
- 1996-中国: 黄土高原, 雲南省, 福建省
- 1997-イエメン: サナア中央高地, ティハマ地方, シハーム
- 1997-トルコ: イスタンブール, サフランホル, フルサ, アンカラ
- 1998-中国: チベット高原
- 1999-中東アフリカ: カメルーン, マリ
- 1999-ベトナム: ハノイ
- 2000-シリア: ダマスカス, アレッポ
- 2001-韓国: 江原道, 慶尚北道, 慶尚南道, 全羅北道, 済州道
- 2003-ベトナム: 北西部
- 2004-中国: 雲南省, 珠江流域
- 2005-ベトナム: 中・南部
- 2007-西アフリカ: フルキヤ, トーゴ, ベナン
- 2009-ラオス: 南部リナムター, 北部: ナンサイ



## 海外の伝統的住居・集落・都市調査 一覧 1990 - 2009年；約330箇所&gt;



## 伝統的住居・集落が注目された背景

1960年代後半から70年代にかけて、「デザイン・サーベイ」がブームとなり、研究者・建築家・学生が伝統的住居や集落、都市を訪ね歩き、調査した。伝統的な建造物（普通の建物）が研究対象となった理由はいくつかある。

## ■ 20世紀モダニズム・近代建築（理論）に対する批判・反省

建築・都市の普遍性の方向であったインターナショナルスタイル（国際様式）に対する批判と反省。

## ■ 建築学の理論と歴史の再考

従来の研究対象は、モニュメント、クラシック、フォーマル、儀式的、**建築家による著名な作品**などで、これらは建築活動のごく一部にすぎない。再考・参照すべき対象として、**ヴァナキュラー**（vernacular, 土着的）、インフォーマル、**アノニマス**（無名の）な空間の魅力に着目。

（偉大な伝統/小さい伝統、古典/民俗、エリート/民衆、聖者/俗人 ※音楽、美術、文学の分野とも連動バツパ・モーツァルト/民謡）



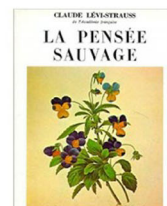
## 世界の伝統的住居・集落・都市から学ぶ

伝統的な住居や集落・都市の空間構成は、現代あるいは将来の居住環境や住まいの在り方を考えてゆく上で、きわめて重要な示唆を与えてくれます。伝統的な集落や住居においては、環境条件の複雑かつ微妙な差異に適応した独創的な空間形成方法が随所にみられ、それらは現代の建築・都市計画にも十分に通用する叡智に富んでいます。

## 世界の伝統的集落から都市と住まいの知恵をくみ取る

- ① 歴史的まち並みの美しさは、類似性の中の差異性にある。
- ② さまざまな場所が居住地として選択される。
- ③ ひとつは類似した自然環境においても異なる住まい方を選択する
- ④ 住まいは生命と財産を守る装置である
- ⑤ 住まいには設計理念がある、ときに、コスモロジーが住居をカタチづくる
- ⑥ 共同体を維持する装置と住まい方の仕組みがある
- ⑦ まちづくり・すまいづくりのヒントが隠されている
- ⑧ 環境に配慮した建築手法が用意されている
- ⑨ 世界は中庭住居で満ちている
- ⑩ 受け継がれたデザインには力がある

## 参考書

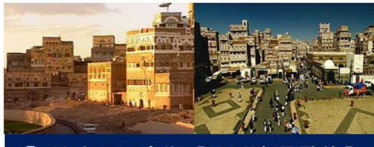




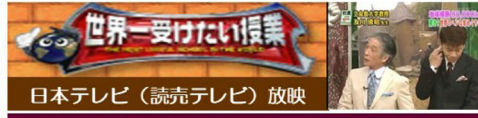
【集落調査隊の主な論文・著書】  
 江戸・室町の都市空間の発展、及川清昭、『東京の発展を考える』、朝倉書店、2002。  
 住宅の歴史と都市空間の発展、及川清昭、『東京の発展を考える』、朝倉書店、2002。  
 歴史の都市空間の発展、及川清昭、『東京の発展を考える』、朝倉書店、2002。  
 世界遺産としての歴史、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 An Analysis on the Visibility of Minarets in Sana'a Old City of Yemen, Shyokai, Okamura, Islamic Area Studies with Geographical Information Systems, Routledge, Oxford, 2004。  
 住宅の歴史と都市空間の発展における伝統と近代の融合、その可能性の検討、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 住宅の歴史と都市空間の発展における伝統と近代の融合、その可能性の検討、(2) 近代化における日、露、の建築比較から、岡田健男、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 南米インディアの都市空間と居住形態に関する研究、藤井明、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 北西アフリカの伝統的居住形態に関する研究、藤井明、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 イスラム圏の伝統的居住形態に関する研究、藤井明、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 コンクリート（集合住宅）の建築形態に関する研究、一か所、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 ペトナム・西貢における伝統的居住形態に関する研究、藤井明、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 ラオスにおける伝統的居住形態に関する研究、藤井明、及川清昭、『建築大百科事典』、朝倉書店、2005。  
 Spatial Development of Lao Urban Dwellings along the Malong River, Vongprasath Thanouasorn and Kiyoko Okawa, Journal of Asian Architecture and Building Engineering, Vol.9, No.2, pp.403-407, 2010



① 城壁都市シバム  
 【及川清昭監修】  
 Old Walled City of Shibam  
 2006年5月21日



② サナア旧市街【及川清昭監修】  
 Old City of Sana'a  
 2006年11月26日



① 2007年11月17日(土)  
 地球横断80,000km! 驚き! 世界のへんな家めぐり  
 ② 2008年8月2日(土)  
 地球横断80,000km! 驚き! 世界のへんな家めぐり Part.2  
 ③ 2010年7月3日(土)  
 上半期使える知識ベスト100



① 歴史的まち並みの美しさは、類似性の中の差異性にある <統一性と多様性のバランス>

1960年代から70年代にかけて加速した日本の歴史的街並みへの関心とその調査は、身近な生活空間を歴史や文化という観点から捉え直す大きな契機となり、まちづくりの資源発掘（単一の民家でなく、群としての建築が表現する地域性）につながった。

c.f. 及川清昭, 歴史的町並みをめぐる潮流, 『建築大百科事典』

近江八幡

丹波篠山

記号論的組成分析

むしこ窓

煙出し(越屋根)

格子

卯建

② さまざまな場所が居住地として選択される

頂上、谷、斜面、断崖、穴居、砂漠、水上、樹上、..., 人々の住まう場所は多様である。場所に適応するために、居住者自らが考え出し、改良してゆく住まい方がある。

